

(様式3)

令和6年3月28日

京丹後市

「宇川地域拠点施設整備基本計画（案）」に対する意見募集の結果

京丹後市では、宇川地域拠点施設整備基本計画（案）に対する意見の募集を、令和6年2月16日から令和6年3月8日まで行いました。その結果、5件の意見を頂きましたので、その要旨と京丹後市の考え方を公表します。今後、頂いた意見を踏まえ、基本計画の策定作業を進めていくことといたします。

1 概要

頂いた意見の要旨と京丹後市の考え方は別紙のとおりです。

2 今後の予定

頂いた意見を踏まえ、3月末日を目処に宇川地域拠点施設整備基本計画の策定作業を進めていくことといたします。

【連絡先】

連絡先：市長公室 丹後市民局

住 所：〒627-0201 京丹後市丹後町間人 1780 番地

電 話：0772-69-0714

F A X：0772-75-2160

E-mail：tango-shimin@city.kyotango.lg.jp

宇川地域拠点施設整備基本計画に関するパブコメ

	項目	質問	回答（案）
1	<p>建設から 40 年が経過し老朽化が著しい状況にある中、持続可能な地域づくりに向け、今後の地域拠点の在り方が課題となっています。</p>	<p>そもそもなぜ修繕ではなく建て替えなのですか？ 私は築 150 年以上の古民家を改装し快適に暮らしています。若い世代の意見を聞きたいお声がけいただき前回の検討会に参加しましたが、初回から参加している 30 代の方以外全員「建て替え」ということをその場で初めて知りました。そして全員が修繕でいいのではとまずそこからでした。膨大な費用をかけ 20 年後に活用されているイメージの湧かない、また維持費を人口減少が続く次の世代の負担にする意味が分かりません。検討会に初回からすべて参加している 30 代の方がおっしゃっていました。「建て替えありきの話に反対していたが人口ピラミッド的に若い人の意見は反映されないのと言うのを諦めた」と。検討会の意見もその後年長者から順にあてがわれた区長会に持っていくというなどのスキームでますます若い人の意見は消えてしまいます。 若い世代を入れた新コミュの発足を区長会が反対してきたと聞いています。議会において「若い人に意見を求め、具体化してきた」との説明があったようですがどこに反映されているのですか</p>	<p>宇川アクティブライフハウスの新設整備の検討については、令和 4 年度に市民向け全体会議、宇川住民アンケート、2 回のワークショップの開催、それらを基に地元から「多くの課題解決は改築でも可能だが、抜本的な解決には建替えが良い。」とする旨の報告書の提出を受けました。 令和 5 年度においては、新設整備の基本計画策定の予算を受け、4 月以降、地元区長会や公民館の役員さん、宇川加工所の方々と意見交換をする中で、宇川地域における拠点の必要性について認識いただくとともに、検討にあたっては現在の場所における宇川アクティブライフハウスの建替えを前提として出発したのではなく、候補地についてはもう少し幅広く検討するほうが良いのではといったご意見を踏まえる中で、基本計画策定の取り組みを進めてきました。 宇川アクティブライフハウスについては、施</p>

			<p>設・設備の老朽化が進んでおり、修繕にしても多額の経費の支出が想定されます。また、建設当時と建築基準法等に定める建築基準が異なっており、現在の施設の雰囲気や仕様を残しながら修繕することは困難であり、結果的に利用しづらくなる可能性もあると専門家から指摘を受けています。</p> <p>このようなことから、宇川地域で長期的な視点をもって持続可能な地域づくりを進めていくためには、今後のニーズをできる限り汲み取った上で、新たに活動拠点の整備を目指し、「宇川地域拠点施設整備基本計画（案）」をまとめたものです。</p> <p>なお、「物販機能は従来のコミュニティ機能とは切り離して、若者を取り込んだ運営母体を作るべき」といったご意見も若い人からいただいているところであり、指定管理者制度など施設の管理・運営については、今後の検討課題として具体化を図っていくこととしています。</p>
2	2-2 ・買い物支援	人口減少、観光客減少(海水浴客の激減、キャンプブームの終焉)は目に見えています。宇川温泉も過去最低来	課題の多い現状を少しでも改善し、持続可能な地域づくりに貢献するため「宇川地域拠点施設

	<ul style="list-style-type: none"> ・観光消費額の停滞 ・若者の暮らしの満足度について 	<p>場者数の月があったはずですが。先細りの状況で膨大な費用を投じる意味がありますか？</p> <p>箱を作ったからといって移住推進にはまったくなりません。</p>	<p>設整備基本計画（案）」を策定するものです。ここでの整備の方向性（コンセプト）として、少子化、高齢化という課題に対し「安心して暮らせる」「希望を持って暮らせる」よりどころとなる施設整備を目指しているところです。</p> <p>また、高齢者ニーズ、若者ニーズ、子育てニーズを踏まえた機能を持ち、多世代が交流する「第3の居場所」として地域住民が気軽に集える場所となり、持続可能な地域づくりの拠点となる施設として整備を図るものです。</p>
3	2-3 宇川地域の地域づくりの取り組み	<p>すべて高齢の方々への取り組みです。唯一わくわく教室が子供たちのものですが中心となっている学年が来なくなると誰も行かなくなります。まして小学校が統合されるとますます行かなくなります。</p>	<p>「宇川地域拠点施設整備基本計画（案）」における宇川地域の現状と課題として、宇川地域の地域づくりの取り組みの現状をまとめたものです。</p> <p>宇川地域では、特に生活支援が必要な高齢者を対象とした移動支援や買い物支援、また子供の居場所づくりを目的とした子ども対象のわくわく自習室の取り組みなど、地域の課題解決に向けて地域住民が主体的に活動されているものです。</p> <p>持続可能な地域づくりには、地域の主体的な活動が不可欠であると考えており、このような</p>

			活動を展開する中で、域外との交流も含めて幅広い世代の方々の参加も促される契機となると考えています。市はこのような新たな地域コミュニティを推進する中でこうした活動を支援していきたいと考えています。
4	2-5 宇川地域拠点施設整備の必要性 こうした地域活動が地域の活力となり、魅力として発信されることで、市外から宇川地域へ移住する若い世代も現れてきました。	具体的に誰のことを言っていますか？私の知る限りそういう理由で移住してきた人はいません。	龍谷大学のゼミによるフィールドワークの取り組みを通じたU I ターン、農村型地域運営組織（農村 RMO）を通じた移住者、地域おこし協力隊など宇川地域の魅力を基にした若い移住者が現れてきているところです。 ※【参考】 宇川地域への移住者数（丹後市民局調べ） R1 年度：8 人 R2 年度：25 人 R3 年度：15 人 R4 年度：15 人
5	宇川地域には、平成 26 年に米軍経ヶ岬通信所が設置され、現在は通信所内に米軍人が居住するなど他の地域とは異なる特性があり、防衛省の補助事業を	なぜそれが「地域振興を進める必要」があるのか分かりません。	宇川地域拠点施設整備の必要性の背景として記載しているところですが、持続可能な地域づくりを進めていくためには、世代を超え、また地域を越えて人々が集え、地域活動を継続し次世代に繋ぐなど、地域コミュニティの活性化の核となるような拠点施設の必要性が高まっ

	<p>活用するなどしながら、地域振興を進める必要があります。</p>		<p>ています。</p> <p>また、宇川地域では、令和元年に唯一の商業施設が撤退したのをきっかけに、現施設を活用して地域が主体的に生活支援や交流の場づくりなどの地域活動を展開されていますが、この施設は築40年を超える施設であり老朽化しているため、防衛省の補助金等の活用も視野に入れ、10年後、20年後を見据えた宇川の地域振興の拠点となる施設を整備していきたいと考えているものです。米軍施設の立地に伴い、地域の皆さんに様々な負担が発生しており、これを補完する等の趣旨から、防衛省の助成金が制度化されており、この活用を適切・有効に図る趣旨も背景として前提されています。</p>
--	------------------------------------	--	---